

第38号
平成25年11月6日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



混合機を使ってダンゴの土づくり作業



EMダンゴを作っている皆さん

新池川をきれいにする会は年に3回ほど有用微生物群（EM）ダンゴを鳴門市を流れる新池川に投入して浄化を図っています。このEMダンゴを作る作業が9月29日、市し尿処理場（木津）であり、同会や鳴門市第一中学校ボランティア部、ボランティア希望者などが参加して、10,000個以上を作りました。

「みんな一緒に、地域の中で共に暮らす」

一般社団法人 たすけあいねっと凜
代表 斉藤 あや子

私たち、たすけあいねっと凜は「みんな一緒に、地域の中で共に暮らす」ために様々な助け合い活動を行っています。

「助け合い活動」とは、全ての人々が安心して住みなれた町で、その人らしく生活できるように、それぞれの特徴を理解しながら一人ひとりが役割をもち、困った時はお互い様の心で地域の人々と一緒に助け合い、支え合う活動です。

住み慣れた地域で安心して暮らすのは、そんなに難しいことはありません。周りの人のほんの少しの声かけと、ほんの少しのお手伝いでずいぶん住みやすくなるのです。

私たちは、数年前から別々のNPO法人が任意グループとして集まり、地域で助け合い、ふれあい活動の啓発や勉強会等を展開してきました。活動の中で同じ思いを持つ仲間が増える楽しみや心強さを感じています。私たち「たすけあいねっと凜」はあたたかい笑顔があふれるまちづくりを目指し取り組んでいきたいと思っています。みなさんも一緒に活動しませんか？

今回、鳴門市からWe Love なるとまちづくり活動応援補助金を頂き「みんなで一緒に地域の中で共に生きる勉強会」を開催します。是非ご参加ください

「助け合い活動仕組みづくり」

日時 平成25年11月24日（日） 13:00～15:00
場所 鳴門市大津中央公民館
参加費 300円（資料代・お茶代含む）



【日独友好のコスモス祭り】に関わって

第九の森 居上 和子

平成10年に始まったコスモス祭りも今年ではや16年目。よくこれまで続けてこられたものだと思う。最初はボランティア支援の会の村元代表から、日独友好のコスモス栽培を市全体に広めようとの意義を熱く語られ、「がんばろう!」と決意、仲間呼びかけた。

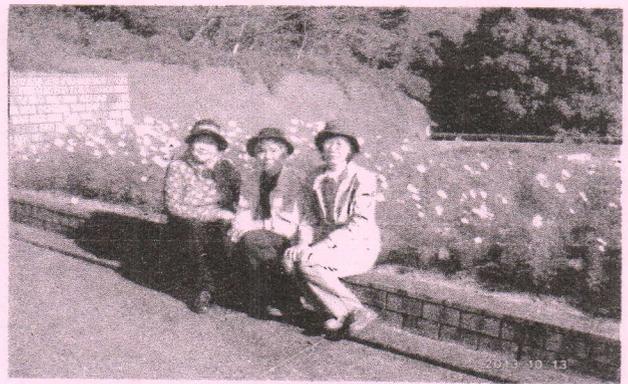
コスモス栽培着手から今年で20年が経過。この間多くの仲間達が入りし、ボランティアの喜びを味わいながら、各自が個性を發揮し素敵な花壇づくりに携わってきた。コスモスの合間には春はチューリップ、冬には葉ボタンが散歩する人の目を楽しませた。ここ数年は高齢化や家族の介護等でやむなく去り、今では夫と近隣の人に支えられ、どうにか毎年ドイツコスモスの栽培だけは続けている。

今年の種蒔は8月20日、8月31日と2回に分けて行った。鳴門市の親善使節団がリュネから持ち帰った種を即時に植えたかったからである。

祭り当日はピンクの幟と風で舞う大きなシャボン玉に誘われて、多くの子連れ夫婦や祖父母、また次々に市の関係者も応援にきてくださった。お礼が後になり恐縮ですが、ドイツフェストの担当者や市の公園課の方々の協力で吾妻屋周辺の草刈り・清掃をしていただき、素敵な環境で訪問者を迎えることができ感謝しております。

各所で祭りへの取り組みはさまざまですが、ここ【第九の森】では、①ドイツコスモスの種 ②大きなシャボン玉飛ばし ③わくわくのくじ引き ④無料のお飲み物などでお接待。

県外からの客には、この祭りの由来を少し丁寧に伝え、大いに感心して大事に種を持ち帰られます。今年は【鳴門の第九】関連で「NHK」の取材も入り、栽培20年が大きな記念の年にもなり仲間の協力を感謝する次第です。



ドイツコスモスの前で

◎助成事業

1. 新たな地域福祉の展開に寄与する先駆的・モデル的事業
2. 直面する地域福祉課題解決のための企画提案事業

◇助成活動内容

- ・子育て支援を図る活動
- ・高齢者の生きがいづくりや社会参加を図る活動
- ・障害者の自立と社会参加を図る活動
- ・ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進する活動
- ・その他社会福祉の発展に寄与する活動

◇助成対象者

徳島県内において、社会福祉の振興に寄与する事業を行う団体（法人格の有無は問わないが非営利団体であること）

平成26年度 助成事業募集

◇事業実施期間 平成26年度内に完了する事業

◇助成金 1団体につき100万円以内

◎助成事業

3. 地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業

◇助成活動内容 地域活動支援センター等利用者の社会参加を行う活動

◇助成対象者 徳島県内の地域活動支援センター及び障害者地域共同作業所

◇事業実施期間 平成26年度内に完了する事業

◇助成金 1団体につき15万円以内

◆締切日 平成25年12月20日

◆問い合わせ先

公益財団法人 徳島県福祉基金事務局

☎088-654-0294

『自分たちの地域は自分たちで』



鳴門市自治振興連合会

会長 村上 菊雄

平成23年3月、鳴門市に県下初となる自治基本条例が制定されました。

市自治振興連合会も、構成する14地区自治振興会とともに、これまでの活動経験を生かした意見を出して、条例づくりに関わりました。

この条例には、「まちづくりの主役は市民」であること、その実現には、「市民参画」と「市民と行政の協働」が大切であることなど、市民活動に取り組む私たちの想いが脈々と貫かれています。

振り返れば、「自分たちの地域は自分たちでつくりあげる」を合言葉に、平成6年から8年にかけて市内全域に地区自治振興会が結成されましたが、既に、諸先輩方は「住民自治」の大切さを認識されながら、自分たちの住むまちをより良くしようとボランティアによる活動を実践され、今の私たちも引き継いでできました。

その想いは、20年近くたって、ようやく、「市民が主役」を目指す自治基本条例となったことから、私たち市民も、この条例を大切に育てていくと同時に、少子高齢化が進む中、地区自治振興会の意義や役割については、原点に立ち帰り、見つめ直す時期にきていると感じています。



自治振興連合会総会会場

地区自治振興会とは、地区内の町内会や婦人会、老人会などの各種団体が連携して活動していますが、各団体の会員に限らず、地区住民であれば、誰でもが参加できます。つまり、各種団体に属していない住民でも、地区自治振興会によってつながることができ、その活動への参加を通じて、誰もがまちづくりに参画できるなどの意義を有しています。

今、東日本大震災の教訓として、「地域の絆の大切さ」が見直されています。また、高齢となっても住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすために、「人と人とのつながり」が重要になっています。強く結ばれた「絆」や「つながり」を育むためにも、地域住民全体をつなぐ地区自治振興会の果たす役割は、重大性を増しています。

今後も、14地区が一丸となり、市民一人ひとりが「自分も地域のために」という気持ちで、積極的にまちづくりに参画できるよう、「住民自治」の意識を育みながら、「市民が主役のまちづくり」に向けた取組を行っていきたいと考えています。

行事のお知らせ

「環づくり四国/限界集落から考える地域資源再生プログラム」

2012-2014活動総括シンポジウムINとくしま

“もう、限界集落なんて言わせない!!” — 四国の環づくりの今後を考える

【開催日時】 平成26年2月9日(日) 13:30~16:30

【開催場所】 徳島市フレアとくしま(ときわプラザ)2階第一二研修室

【同時開催】 2012-2014四国地域環づくり活動パネル展示会

【内容】 基調活動事例報告

“もう、限界集落なんて言わせない!!” 岡山県美作地域おこし協力隊長 井筒 耕平氏
今、西日本地域で若い世代が一番注目し集まる田舎・岡山県美作市上山地区の新感覚での地域再生を実現している活性化の仕掛け人リーダー

【パネルディスカッション】 「四国の環づくりの今後を考える」

(パネラー) 予定 原 直行氏 (香川大学経済学部教授/四国の里山海学)

鈴木 茂氏 (松山大学経済学部教授/農家元気応援隊プロジェクト)

井筒 耕平氏 (岡山県美作地域おこし協力隊長/上山集落再生リーダー)

(コーディネーター) 石田 和之氏 (徳島大学大学院准教授/カーボンオフセット仕掛け人)

【主催/企画運営】 NPO 法人環境とくしまネットワーク ☎080-5666-2276

本活動は2012-2014(独)環境再生保全機構地球環境基金の助成活動です

NPO法人あかりに思う

あかりデイサービス瀬戸
管理者 新開 正規

NPO法人設立後もうすぐで4年が経とうとしています。この4年近くで当法人の目的である“温暖化ガス削減事業”“健康の促進に関する事業”“介護保険法に規定する訪問・通所介護”“福祉サービス事業”これらの項目のうち何ができたのだろうか？

設立7ヶ月後より通所介護(あかりデイサービス瀬戸)を開設。しかし、当初からデイサービスや訪問介護(ヘルパー)の経験者がおらず、認知症って？レビー小体症って？と手探りの状態で始めました。毎日1~2人の利用者さんと真剣に向き合いどのような問題にも職員全員で考え対処することで、利用者さんから沢山の事を教えて頂いた様に思います。その結果、認知症者のケアが本人と一緒に楽しみながら出来るようになりました。現在は介護福祉士2名(うち1名は認知症ライフパートナー)、2級ヘルパー1名、調理師1名、准看護師1名で運営しています。

設立2年目障がい者と高齢者(65歳以上)を介護職に雇用していましたが、障がい者の職員が介護職として働けるようになった矢先、脳血管障害により亡くなりました。在職中は、様々な問題点があり外部より臨床心理士を招き障がい者について独自の勉強会を実施することにより、スタッフが障がい者を理解出来るようになったように思います。高齢者の職員については、すべての利用者さんがその職員と話しをしている姿を見ると、非常に落ち着いているように見受けられます。

今後の課題としてデイサービス施設として地域の人たちとどの様に関わっていけばよいのか？地域の障がい者や高齢者(60歳以上)を介護職員としての雇用を考え、地域の介護・介助が必要な高齢者(認知症者)を見守り必要なケアをして、地域全体で高齢者(認知症者)を支えていく仕組みづくりを考えていきたいと思っています。

最後になりましたが今後とも皆様のあたたかいご支援を宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人 山の薬剤師たち

事務所を鳴門市へ移転しました。
よろしくお願ひします。

【事務所】鳴門市撫養町齊田字西発47番地10

【理事長】瀬川 正昭

【分野】保健・福祉、社会教育、まちづくり、
環境

【事業】

- ・高齢者および障害者の生きがいを支援する事業
- ・在宅医療や介護を推進する事業
- ・医療、介護および福祉関係者などの連携を推進する事業
- ・薬剤師の教育や社会参加を推進し、へき地などの活性化を図る事業
- ・環境の保全を図る事業
- ・一般医薬品の販売および処方箋調剤による医療用医薬品を提供する事業(薬局事業)
- ・サービス付き高齢者向け住宅に関わる事業
- ・老人デイサービスに関わる事業
- ・家事援助及び介護援助に関わる事業
- ・老人居宅介護等に関わる事業
- ・障害福祉サービスに関わる事業
- ・実習・研修に関わる事業
- ・児童福祉法に基づく障害児通所支援に関わる事業

鳴門市市民活動支援センター

鳴門市撫養町南浜字東浜30-9

老人福祉センター1階

開館日 月~金曜日 13:00~18:00

休館日 土・日・祝日・年末年始

TEL 088-685-7170

(鳴門市社会福祉協議会内)

FAX 088-686-4059

E-mail: naruto.npo.shien@gmail.com